

二十歳を迎えて

小針 あい



この度、二十歳を無事に迎えることができ大変うれしく思います。

これまでの二十年を振り返ると、長いようで短い。新型コロナの直撃にあった高校生活は、マスク生活となりクラスメイトの顔もろくに見たことがない状態です。早く大人になりたいと思っていた学生生活からもうすぐ二年が経つのかと年月の早さを感じています。

学生の頃は勉強嫌いで面倒ごとは後回しにし、自分が楽しいことばかりしていました。

高校を卒業後、社会人として働くようになりました。現在は、いろいろなことを経験している最中です。何をするにも知識が必要。規則を調べ、先輩の経験談を参考に自身で考え行動を起こす。学生時代よりも自身の言動・行動に伴う責任を感じています。これまで家族・先生方・友人等に守られ・支えられてきたのだと実感しています。

社会人になった今、私が立てている目標があります。それ

は、周りを見ることです。職場では様々な人がいて二・三年で、異動があり人間関係がガラリと変わります。職場の雰囲気がよくなり自身も業務のしやすい環境になるように細かなところにも気をつけるようにします。また、二十歳を迎え何ができるようになったといえ、お酒とたばこが代表でしょう。飲みすぎには注意し、皆無となっている運動習慣を戻し自己管理をすることが大切だと思っています。

最後に、知らない・分からないが許される年齢ではなくなりました。「聞くは一時の恥。聞かぬは一生の恥。」です。これからも勉強し、尊敬される大人になれるように頑張ります。